

採用計画「有り」が4年連続増加

— 第 32 回 埼玉県内新規学卒者採用状況調査 —

県内企業を対象に4月中旬実施した「埼玉県内新規学卒者採用状況調査」(回答企業数 296 社、回答率 29.1%)の結果は以下のとおりである。

●新規学卒者の採用動向

採用計画の有無

2014年4月入社の新規学卒者(以下、新卒者という)について採用計画が「有った」企業は51.7%、前年度(2013年4月調査)の49.4%に比べ2.3ポイントの増加となった。4年連続の増加となり、リーマンショック前の2008年度の52.7%とほぼ同水準にまで回復した。

採用計画人数の増減

新卒者の採用計画人数の増減は、前年度より「増加」が20.7%、「減少」が18.8%となった。採用計画の有無が改善に転じた2011年度調査以来4年連続で「増加」が「減少」を上回った。ただ、前年度と比べると「増加」とする企業は2.2ポイント減り、「減少」が1.1ポイント増えた。新卒者の採用計画は意欲的な企業が増えているが、採用人数についてはやや慎重な姿勢もみられる。

採用が増加した理由

採用計画人数が「増加」した理由(複数回答)は、「良い人材が採用できる」が38.6%で最も多く、以下「恒常的人手不足の補完」が36.8%、「今後の業況好転を見込んで」が28.1%と続く。

前年度と比べ最も増加したのは「今後の業況好転を見込んで」および「業況の好調」で、ともに8.4ポイント増加した。景気が持ち直すなかで、業況が改善した企業では新卒者採用を増やしてきている。一方、最も減少したのは「恒常的人手不足の補完」で、前年度に比べ8.7ポイント減少した。

●採用実績

計画に対する採用の実績は「ほぼ計画通り」採用できたのは70.4%(前年度比▲7.7ポイント)で、前年度より減少した。一方、「やや不足」が21.7%(同+2.1ポイント)、「大幅に不足」が7.9%(同+5.7ポイント)となり、合わせて約3割の企業が「不足」としている。

●来年度の採用計画

来年度(2015年4月入社)の採用計画人数は、今年度より「増加」とした企業が23.5%、「変わらない」が36.7%、「減少」が4.8%、「未定」が34.9%となった。「増加」とする企業が「減少」とする企業を18.7ポイント上回っており、来年度の新卒者の採用数は今年度を上回ることが見込まれる。また、例年同様「未定」とするところが多いが、「未定」の割合は前年度調査の42.1%に比べ7.2ポイント減っており、企業の採用計画が早めに進んでいることもうかがえる。

(照会先:辻、吉嶺)



1. 新規学卒者の採用動向

(1) 採用計画の有無

2014年4月入社の新規学卒者（以下、新卒者という）について採用計画が「有った」企業は51.7%、前年度(2013年4月調査)の49.4%に比べ2.3ポイントの増加となった。4年連続の増加となり、リーマンショック前の2008年度の52.7%とほぼ同水準にまで回復した。

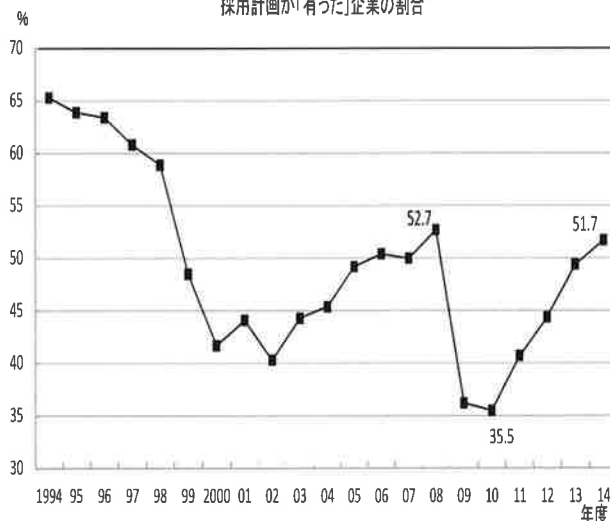
業種別にみると、製造業50.8%（前年度比+2.5ポイント）、非製造業52.2%（同+2.2ポイント）となり、製造業、非製造業ともに前年度に比べ新卒者採用を計画した企業が増えた。

規模別にみると、大企業は90.5%（同▲0.8ポイント）、中小企業は48.7%（同+2.7ポイント）となり、大企業では約9割の企業で採用計画が有り、中小企業は半数近くの企業で採用計画が有った。

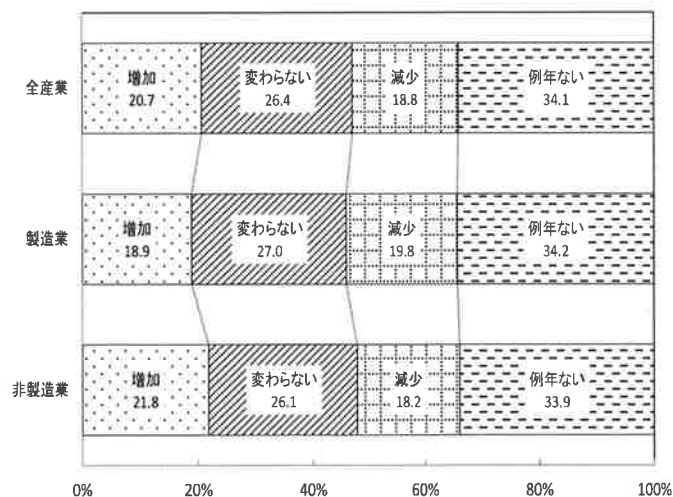
(2) 採用計画人数の増減

新卒者の採用計画人数の増減は、前年度より「増加」が20.7%、「減少」が18.8%となった。採用計画の有無が改善に転じた2011年度以来4年連続で「増加」が「減少」を上回った。ただ、前年度と比べると「増加」とする企業は2.2ポイント減り、「減少」が1.1ポイント増えた。新卒者の採用計画は意欲的な企業が増えているが、採用人数についてはやや慎重な姿勢もみられる。

採用計画が「有った」企業の割合



採用計画人数の前年度比増減 (業種別)



業種別にみると、製造業は「増加」18.9%（前年度比▲2.7ポイント）、「減少」19.8%（同▲3.6ポイント）、非製造業は「増加」21.8%（同▲1.9ポイント）、「減少」18.2%（同+4.1ポイント）となった。「増加」とする企業は製造業に比べ非製造業でやや多い割合となっている。

規模別では、大企業は「増加」35.0%（同▲17.4ポイント）、「減少」30.0%（同+30.0ポイント）、中小企業は「増加」19.5%（同▲1.1ポイント）、「減少」18.0%（同▲1.1ポイント）となった。

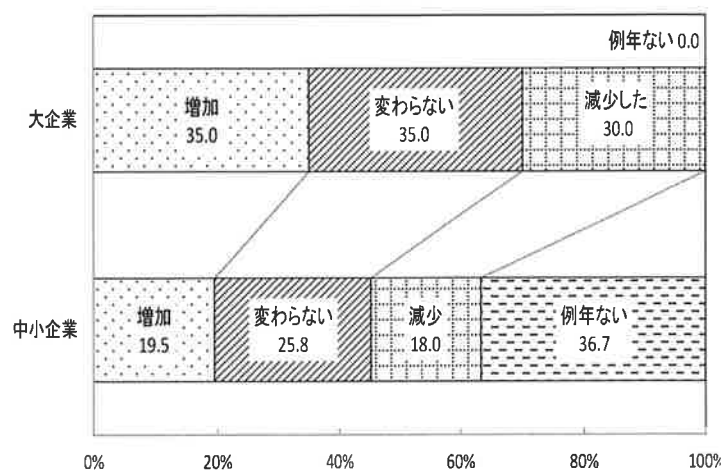
男女別では、男性は「増加」が21.0%（同▲0.3ポイント）、「減少」が18.8%（同+2.1ポイント）、女性は「増加」が14.7%（同▲2.1ポイント）、「減少」が15.0%（同▲0.1ポイント）となった。

（3）増加した理由

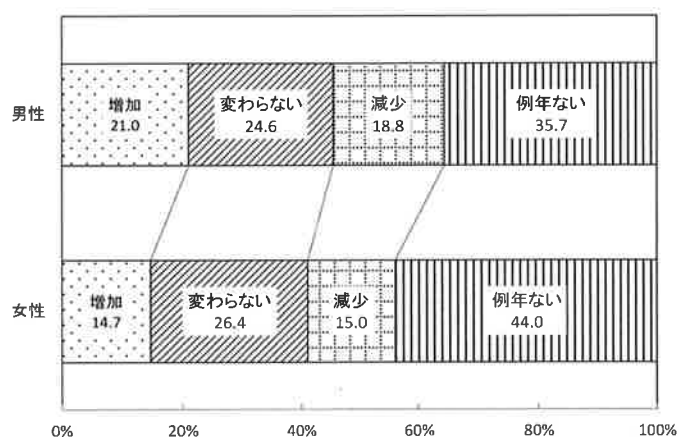
採用計画人数が「増加」した理由（複数回答）は、「良い人材が採用できる」が38.6%で最も多く、以下「恒常的人手不足の補完」が36.8%、「今後の業況好転を見込んで」が28.1%と続く。

前年度と比べ最も増加したのは「今後の業況好転を見込んで」および「業況の好調」で、ともに8.4ポイント増加した。景気が持ち直すなかで、業況が改善した企業では新卒者採

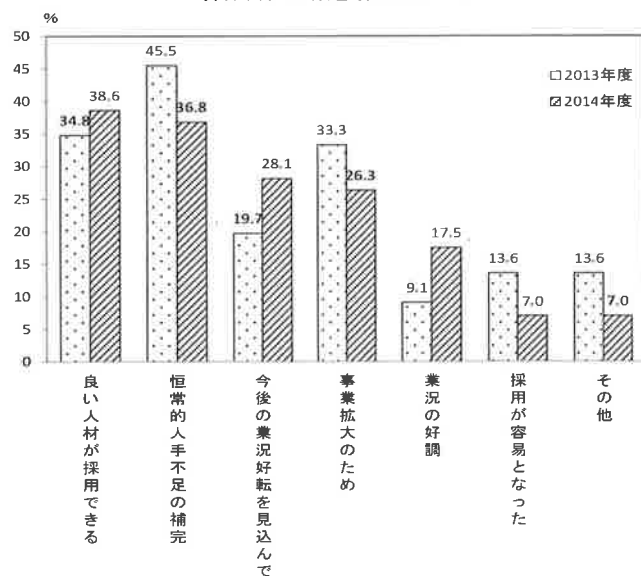
採用計画の前年度比増減
（規模別）



採用計画人数の前年度比増減
（男女別）



採用計画人数を増加した理由



用を増やしてきている。

一方、最も減少したのは「恒常的人手不足の補完」で、前年度に比べ8.7ポイント減少した。

業種別では、製造業は「良い人材が採用できる」が38.1%で最も多く、以下「恒常的人手不足の補完」33.3%、「事業拡大のため」28.6%と続く。非製造業は「良い人材が採用できる」、「恒常的人手不足の補完」がともに38.9%で最も多く、以下「今後の業況好転を見込んで」の33.3%、「事業拡大のため」25.0%となった。

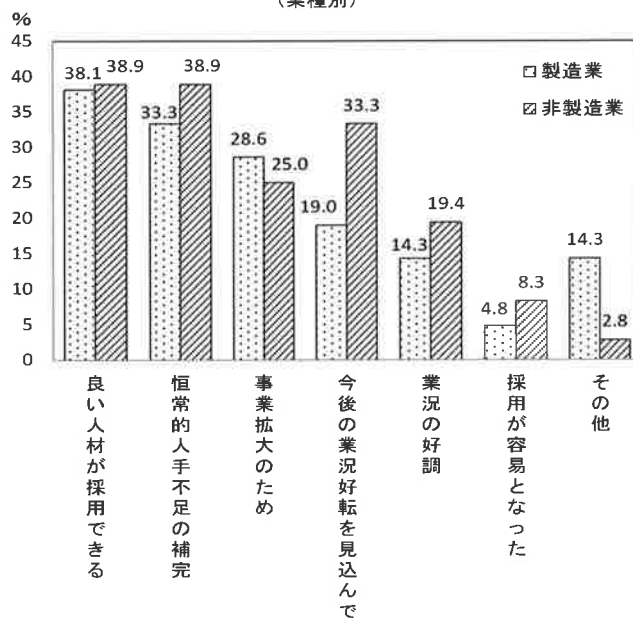
(4) 減少または例年ない理由

採用計画人数が「減少または例年ない」理由（複数回答）は、「人手が不足していない」の31.5%が最も多く、以下「業況の不振」の27.4%、「熟練者を採用」の20.5%と続いた。

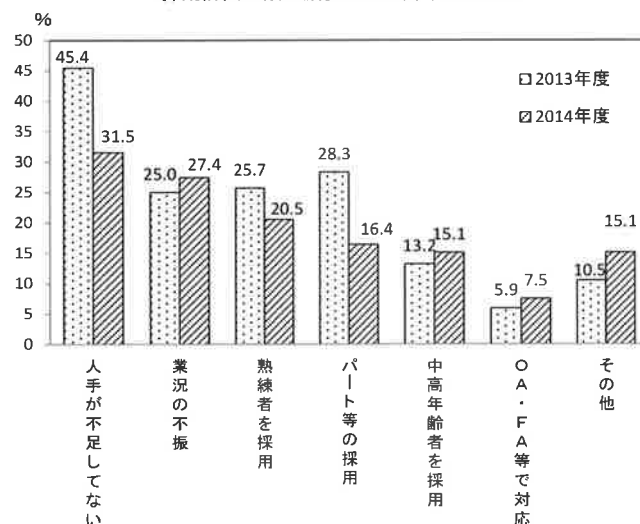
前年度と比べ「人手が不足していない」が▲13.9ポイントと大幅に減少した。余剰人員を抱える企業が、これまでに比べ減ってきているとみられる。

業種別では、製造業は「業況の不振」が38.3%で最も多く、次いで「人手が不足していない」36.7%、非製造業は「人手が不足していない」が27.9%で最も多く、次いで「熟練者を採用」の25.6%となった。

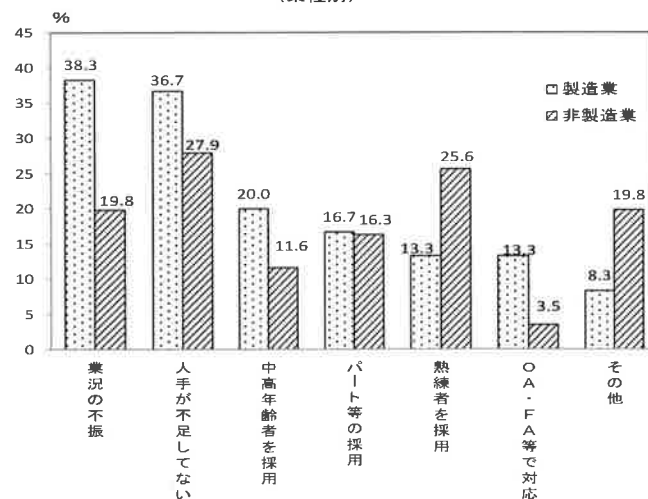
採用計画人数を増加した理由
(業種別)



採用計画人数が減少または例年ない理由



採用計画が減少または例年ない理由
(業種別)



2. 採用実績

計画に対する採用の実績は「ほぼ計画通り」採用できたのは70.4%（前年度比▲7.7ポイント）で、前年度より減少した。一方、「やや不足」が21.7%（同+2.1ポイント）、「大幅に不足」が7.9%（同+5.7ポイント）となり、合わせて約3割の企業が「不足」としている。

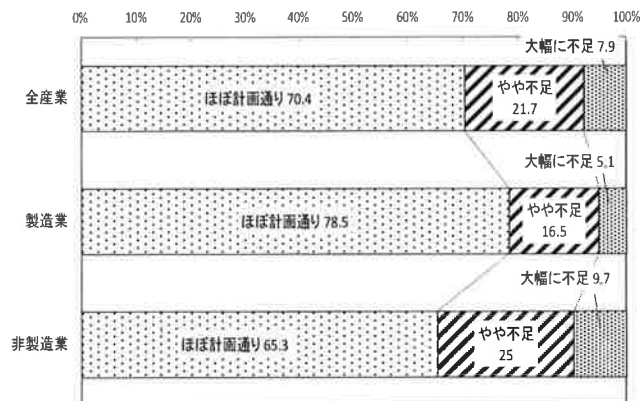
業種別にみると、「ほぼ計画通り」が製造業は78.5%（同▲11.7ポイント）、非製造業は65.3%（同▲5.8ポイント）となり、製造業に比べ非製造業で計画通り採用できなかった割合が高かった。

学歴別・職種別にみた不足状況は（複数回答）、「大卒技術」が最も多く36.7%、以下「大卒事務」25.0%、「高卒技術」23.3%、「専門技術」20.0%となった。例年同様、技術系の不足が目立つが、「大卒事務」も前年度比+4.6ポイントとなり、ここ数年増加傾向にある。

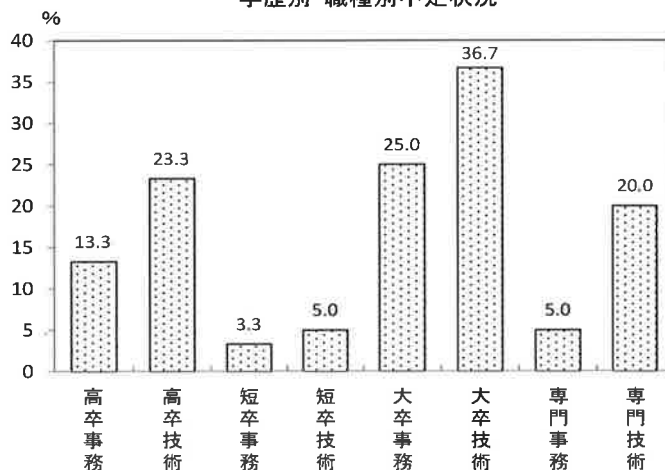
採用が計画に満たない分の対応策は、「中途採用」が最も多く80.0%で、以下「パート等の採用」33.3%、「人材派遣会社利用」26.7%となった。

前年度と比べ「中途採用」が18.8ポイント増と大幅に増加し、「人材派遣会社利用」は3.9ポイント減、「パート等の採用」は3.4ポイント減となった。

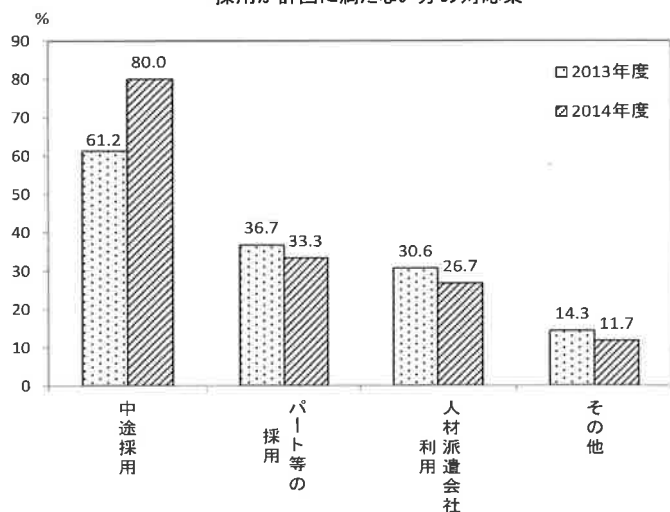
計画に対する採用の実績



学歴別・職種別不足状況



採用が計画に満たない分の対応策



3. 来年度の採用計画

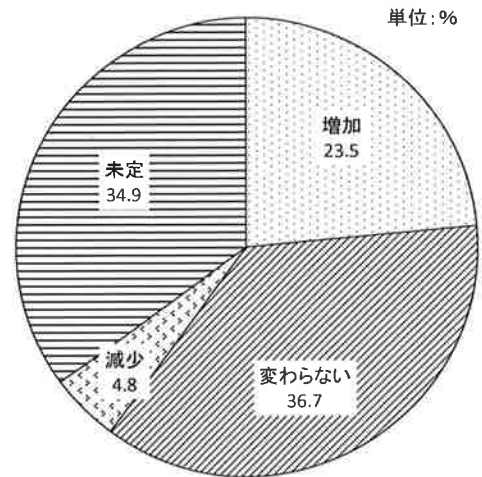
来年度（2015年4月入社）の採用計画人数は、今年度より「増加」とした企業が23.5%、「変わらない」が36.7%、「減少」が4.8%、「未定」が34.9%となった。

「増加」とする企業が「減少」とする企業を18.7ポイント上回っており、来年度の新卒者の採用数は今年度を上回ることが見込まれる。また、例年同様「未定」とするところが多いが、「未定」の割合は前年度調査の42.1%に比べ7.2ポイント減っており、企業の採用計画が早めに進んでいることもうかがえる。

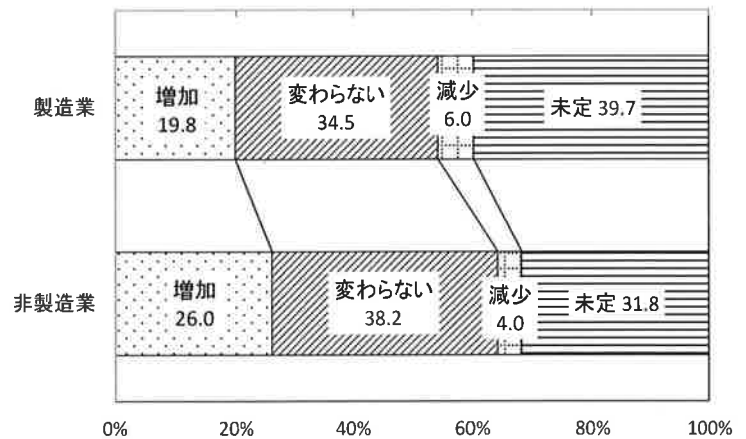
業種別でみると、製造業では「増加」19.8%、「変わらない」34.5%、「減少」6.0%、「未定」39.7%、非製造業は「増加」26.0%、「変わらない」38.2%、「減少」4.0%、「未定」31.8%となった。非製造業で「増加」とする割合が高い。

規模別では、大企業が「増加」19.0%、「変わらない」61.9%、「減少」9.5%、「未定」9.5%、中小企業は「増加」23.9%、「変わらない」34.7%、「減少」4.5%、「未定」36.9%となった。大企業は「変わらない」とする企業が多く、中小企業は「未定」の割合が高いものの、「増加」が「減少」を大幅に上回り、来年度の採用意欲は高いとみられる。

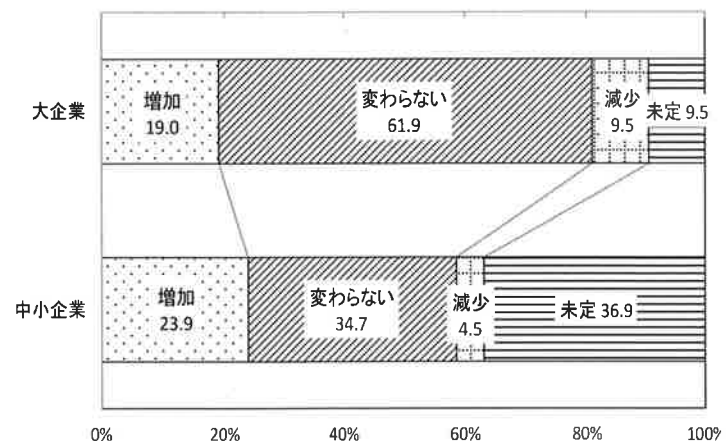
来年度の採用計画人数の増減



来年度の採用計画
(業種別)



来年度の採用計画
(規模別)



4. インターンシップの活用状況

新卒者の採用にあたって、インターンシップ（学生・生徒が在学中に企業で就業体験を行う制度）を活用したことがあるかどうかについて調査した。

それによると、「活用しており、今後も続けるつもり」とする企業は25.3%（前年度比+3.7ポイント）で、4年連続の増加となり、4社に1社がインターンシップを活用している。

また、「活用したことはないが、今後活用してみたい」（12.8%）と、「活用してみたいが、具体的な手法がわからない」（5.7%）を合わせた、インターンシップを現在活用はしていないが興味を持つ企業は合わせて18.5%となり、前年度比で2.8ポイント増加した。

一方、「活用したことはあるが、今後活用するつもりはない」（11.0%）と「活用したことはなく、今後も活用するつもりはない」（43.1%）を合わせたインターンシップに関心を示していない企業は54.1%であった。

規模別にみると、「活用しており、今後も続けるつもり」が大企業では33.3%、中小企業では24.6%と、大企業が中小企業を上回っている。

業種別では、「活用しており、今後も続けるつもり」が製造業で21.2%、非製造業で28.0%と非製造業が製造業を上回った。

新規学卒者採用にあたってのインターンシップ活用状況

(%)

	全産業	企業規模別		業種別	
		大企業	中小企業	製造業	非製造業
活用しており、今後も続けるつもり	25.3	33.3	24.6	21.2	28.0
活用したことはないが、今後活用してみたい	12.8	14.3	12.7	14.2	11.9
活用してみたいが、具体的な手法がわからない	5.7	4.8	5.8	3.5	7.1
活用したことはあるが、今後活用するつもりはない	11.0	4.8	11.5	15.0	8.3
活用したことはなく、今後活用するつもりはない	43.1	38.1	43.5	43.4	42.9
その他	2.1	4.8	1.9	2.7	1.8

調査要領

1. 調査の目的

埼玉県内企業における新規学卒者の採用状況、ならびに来年度の採用計画を調査し、地域内企業の経営判断の参考に供し、もって地域経済の発展に寄与することを目的としています。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出。産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査方法

アンケート方式

4. 調査時期

平成26年4月中旬

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業1,018社のうち296社（回答率29.1%）。回答企業の業種別内訳とそのうち中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業の 占める比率 (%)
全 産 業	1,018	296	100.0	92.9
製 造 業	335	118	39.9	97.5
食 料 品	42	7	2.4	100.0
織 維	12	4	1.4	100.0
化 学	30	7	2.4	100.0
窯 業 ・ 土 石	10	5	1.7	100.0
鉄 鋼	10	2	0.7	100.0
非 鉄 金 属	10	7	2.4	100.0
金 属 製 品	24	15	5.1	93.3
一 般 機 械	36	5	1.7	100.0
電 気 機 械	39	16	5.4	100.0
輸 送 機 械	33	9	3.0	88.9
精 密 機 械	15	7	2.4	85.7
木 材 ・ 木 製 品	10	4	1.4	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	12	6	2.0	100.0
印 刷	27	7	2.4	100.0
そ の 他 製 造	25	17	5.7	100.0
非 製 造 業	683	178	60.1	89.9
卸 売	101	21	7.1	95.2
小 売	97	29	9.8	69.0
建 設	75	27	9.1	100.0
不 動 産	64	23	7.8	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	91	16	5.4	100.0
電 気 ・ ガ ス	16	5	1.7	100.0
情 報 通 信	54	3	1.0	100.0
飲 食 店	46	8	2.7	75.0
サ ー ビ ス	139	46	15.5	87.0